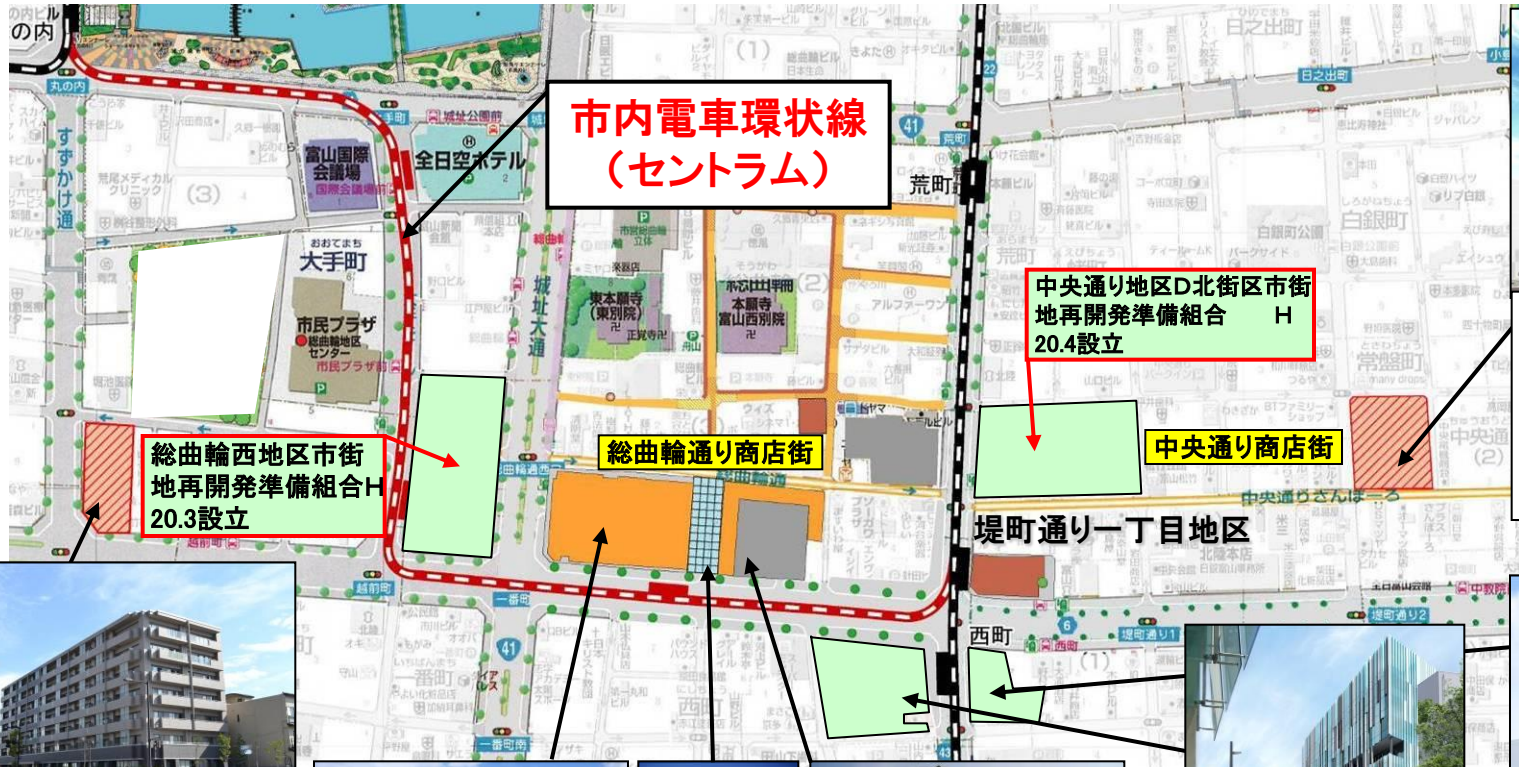
1. 富山市中心市街地における再開発事業等の動き

市内電車環状線（セントラム）開業の影響もあり、中心市街地において、新たな再開発事業の実施や計画が活発化している



中央通りf地区第一種
市街地再開発事業
地区面積約0.4ha
用途　商業・業務・住宅
H24.3完成予定
125戸（3～18階）

総曲輪四丁目・旅籠町地区
優良建築物等整備事業
地区面積約0.4ha
用途　商業・業務・住宅
H22.2完成
52戸（2～7階）

総曲輪通り南地区
延べ面積：約44,200㎡
H19.9完成

グランドプラザ
面積：約1,400㎡
H19.9完成

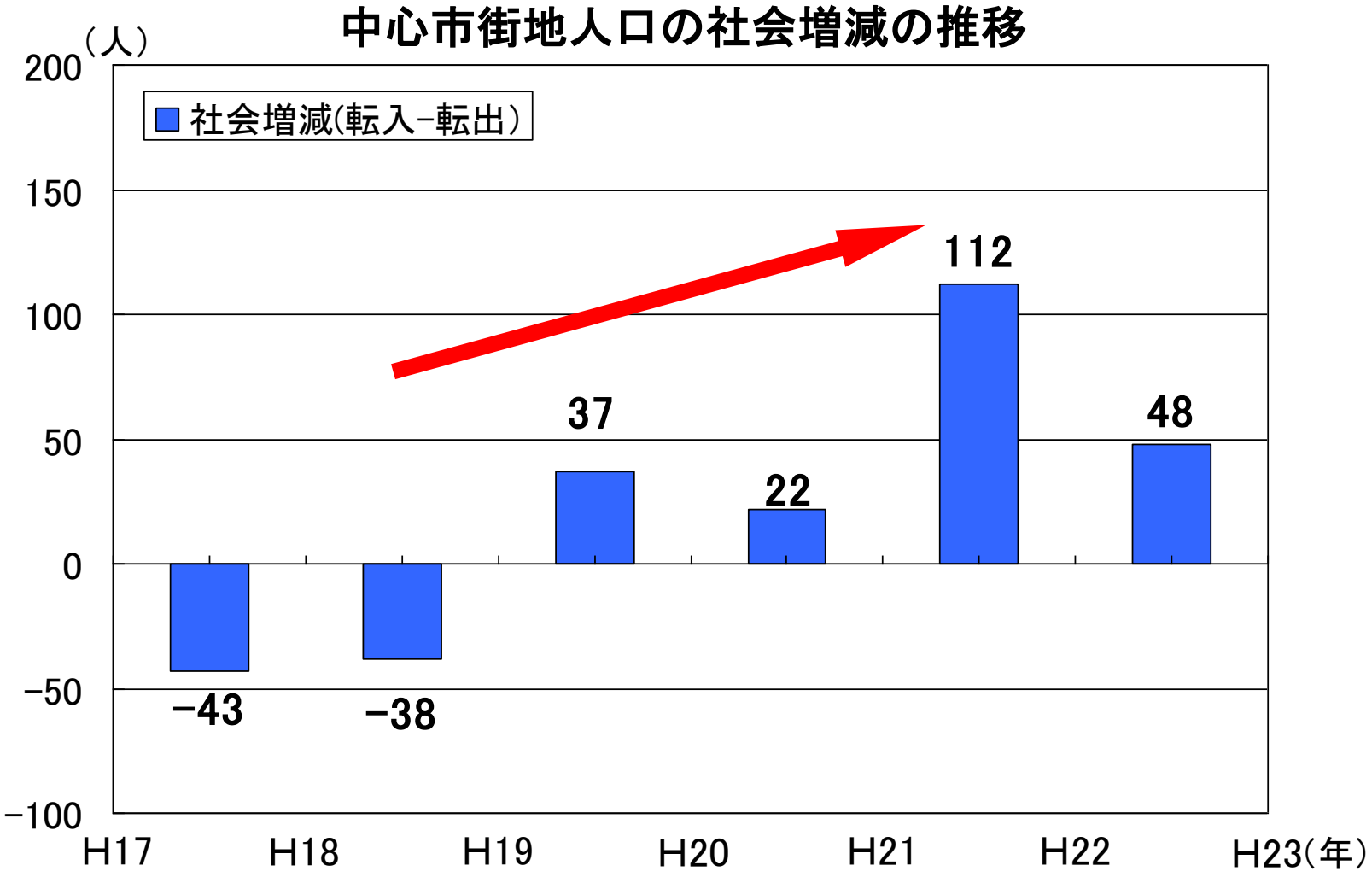
西町・総曲輪地区
駐車台数：630台
H17.4完成

西町南地区第一種
市街地再開発事業
地区面積約0.7ha
用途　業務・公益
H27.3完成予定

西町東南地区第一種
市街地再開発事業
地区面積約0.4ha
用途　商業・業務・住宅
H24.4完成予定
北棟40戸（3～10階）
南棟76戸（3～14階）

2. 富山市中心市街地の人口動態の推移

中心市街地では、質の高い公共交通の整備や居住促進策により、転出超過から転入超過へと転換した

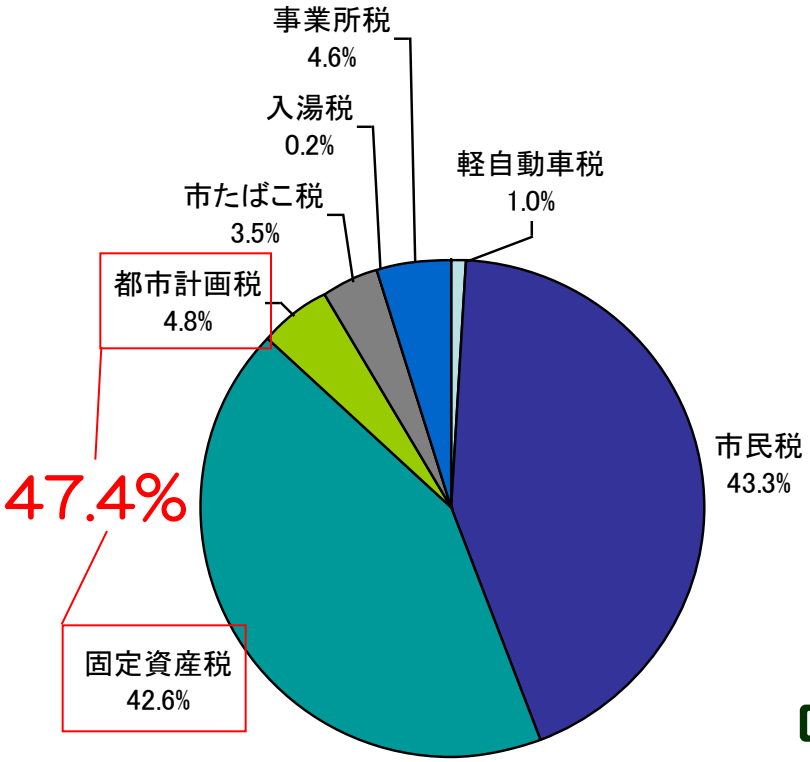


※各年6月末 住民基本台帳人口（外国人登録者含む）

3. 富山市の市税の内訳（平成23年度）

市税の約半分を占める固定資産税・都市計画税の内、22.5%が、面積でわずか0.4%の中心市街地によるもの

富山市の市税の内訳



固定資産税・都市計画税の地域別内訳

	面積比	固定資産税＋都市計画税
市街化区域	5．8%	73．8%
うち中心市街地	0．4%	22．5%
上記以外	94．2%	26．2%

※償却資産分は含まず

活発な経済活動により、
大きな税収を生んできた都心の活力が、
大きく低下しはじめている

⇩

中心市街地の活性化に集中投資

4. まちなか及び公共交通沿線居住推進事業

まちなか及び公共交通沿線への居住を推進するため、良質な住宅の建設事業者や、住宅を建設や購入等を行う市民に対しての助成を実施

■まちなか居住推進事業（H17.7～）

＜支援内容＞

市民向けの支援

・戸建て住宅または共同住宅の購入費等の借入金に対する助成：50万円／戸

・都心地区への転居による家賃助成 1万円／月（3年間）

建設事業者向けの支援

共同住宅の建設費への助成：100万円／戸等

＜実　　績＞　774戸（H17.7～H23.3）

■公共交通沿線居住推進事業（H19.10～）

＜支援内容＞

市民向けの支援

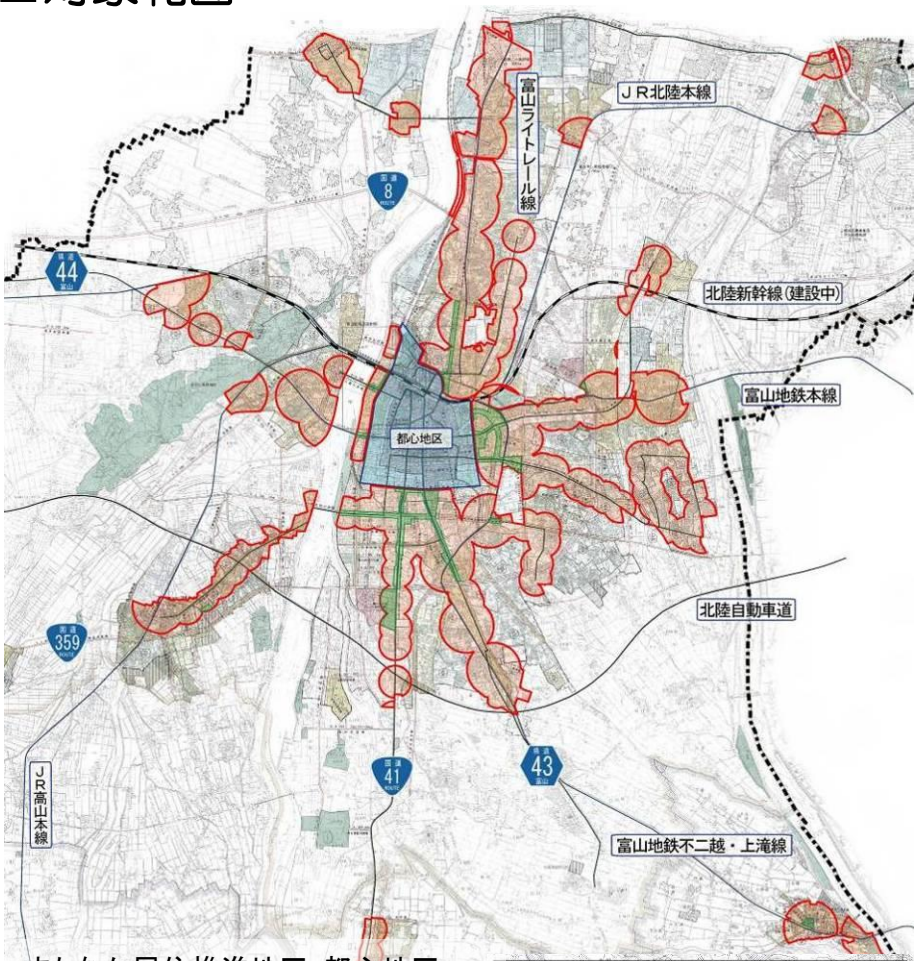
戸建て住宅・共同住宅の建設・取得に対する助成：30万円/戸等

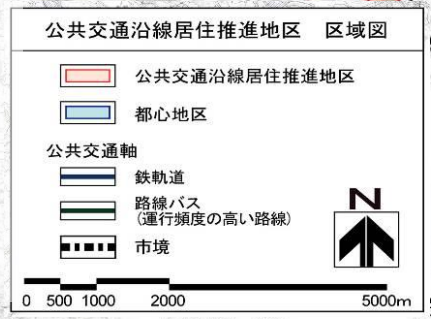
建設事業者向けの支援

共同住宅の建設費への助成：70万円／戸等

＜実　　績＞　491戸（H19.10～H23.3）

■対象範囲



まちなか居住推進地区：都心地区

公共交通沿線居住推進地区：鉄道駅勢圏(半径500m)＋バス停圏(半径300m)でかつ、用途地域が定められている区域(工業地域・工業専用地域を除く）を対象とする。ただし、都心地区(約436ha)の区域は除く。